

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2000-273150(P2000-273150A)

【公開日】平成12年10月3日(2000.10.3)

【出願番号】特願平11-76621

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/50 (2006.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 59/50

C 0 8 J 5/24 C F C

C 0 8 L 63:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月14日(2006.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

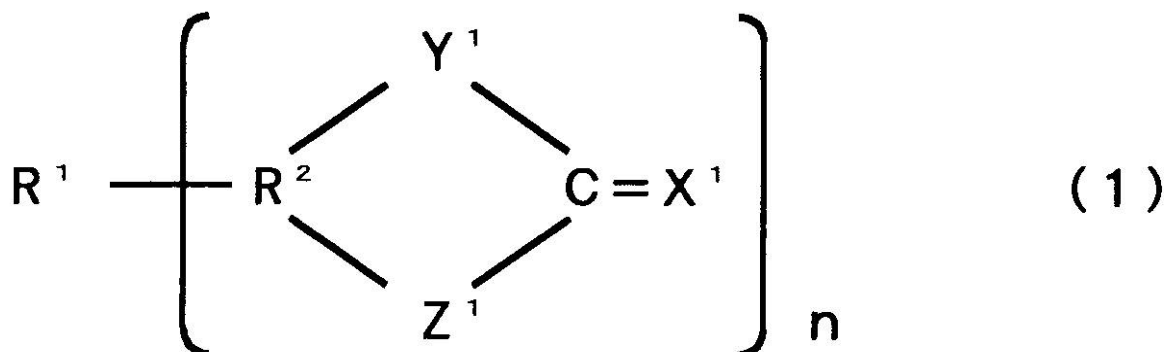
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記一般式(1)で表されるヘテロ環含有化合物(A)、分子中にエポキシ基を2個以上有するポリエポキシ化合物(B)、並びに分子中に1級アミノ基及び/又は2級アミノ基に由来する活性水素を2個以上有するアミノ化合物(C)からなることを特徴とする繊維強化用エポキシ樹脂組成物。

【化1】



[式(1)中、nは1~10の整数、X<sup>1</sup>、Y<sup>1</sup>及びZ<sup>1</sup>は、それぞれ独立に酸素又は硫黄原子；R<sup>1</sup>は環状エーテル基含有化合物(D)の残基又は水素原子；R<sup>2</sup>は炭素数2~10の炭化水素基である。]

【請求項2】 請求項1記載の組成物と、繊維とを組み合わせ硬化させてなる繊維強化複合材料。

【請求項3】 該繊維強化複合材料が、該樹脂組成物を0 で14日間養生し硬化させJIS R7601に従い測定した引張り強さの値が3GPa以上である、請求項2記

載の複合材料。